

【リユースカップ導入事業の概要】

1. 実施場所

横浜国際総合競技場や他の施設・イベント会場

2. 実施期間

平成 16 年 8 月～平成 18 年 3 月 *平成 18 年 4 月以降は今後検討

3. 事業主体

横浜市および(財)横浜市スポーツ振興事業団が主体となり、(財)地球・人間環境フォーラム、横浜マリノス(株)、東京電力(株)、競技場売店、ボランティア関係者等で構成される「横浜国際総合競技場リユースカップ協議会」が、競技場におけるリユースカップ事業の導入・運営について協議。

<主な参加団体>

(財)地球・人間環境フォーラム (理事長 ^{おかざき ひろし} 岡崎 洋)

横浜マリノス(株) (取締役社長 ^{ひだりとも しげお} 左伴 繁雄)

(社)横浜サッカー協会 (会長 ^{さいとう れいじ} 齋藤 禮二)

横浜市 (市長 ^{なかだ ひろし} 中田 宏)

(財)横浜市スポーツ振興事業団 (理事長 ^{おおた のぼる} 太田 昇)

横浜国際総合競技場売店・酒販業者

横浜国際総合競技場ボランティア

エームサービス(株) (代表取締役社長 ^{いしだ ひさと} 石田 久人)

東京電力(株) (取締役社長 ^{かつまた つねひさ} 勝俣 恒久)

4. 事業費用

平成 16 年 8 月～18 年 3 月までで約 2,300 万円を見込んでおり、横浜市・(財)横浜市スポーツ振興事業団、東京電力(株)、(財)地球・人間環境フォーラムにて負担。